

平成三十年度 桜蔭中学校入学試験問題 [国語]

答えはすべて解答用紙に書きなさい。

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

よい、よい、よいと、かえちゃんが、庭を歩いています。自分とおんなじくらいの背のたかさの、芍薬の花のところまでくると、ぼてんと、おしりをついてすわりました。うすも色にふくらんだ、芍薬のつぼみは、まあくて、かわいらしい。これは食べたら、きつとおいしい。そう思ったかえちゃんは、手をのびしました。すると……。

「こおら、これは、おやつじゃないよ」

おや？ これは、どこかできいたことのある声。よく見ると、りっぱに咲いた芍薬のまんなかに、ちいさい、ちいさい、おばあちゃんがあります。

「あれえ、ばあば。このあいだ、死んだよねえ？」

「はい、はい。ぼっくり、ぼっくり」

ちいさいばあばは、うすも色の花の中から、Aうれしそうな顔でかえちゃんを見ました。

「なんだあ」

かえちゃんは、ちよつと①ハラがたちました。だって、ばあばが死んだとき、かえちゃんは泣いたのです。いとこのおねえちゃんが、ばあばは星になったよ、もう会えないよ、と言うので、悲しくて悲しくて、（ 1 ）と泣いたのです。でも、ほんとうは、ばあばはちいさい人になって、こんなところで、②アソんでいたのです。

「とつぜん、いなくなつて」

かえちゃんは、お母さんのまねをして、ひとさし指を立てて、ばあばをしかったです。まえの日までいっしょにいたのに、つぎの日にはいなかったのですから、しかられてとうぜんです。すると、ばあばは、こう言いました。

「①かえちゃんだつて、とつぜん、やつてきたよお」

かえちゃんも、まえの日までいなかったのに、つぎの日にはいたんだよ、と、ばあばは言うのです。

へえ、とつぜん？

風が吹くと、花がゆれて、ばあばもいっしょに、（ 2 ）ちいさいばあばは、楽しそうです。うすも色の芍薬に、ずっと入つてみたかつた、③ユメがかなつた、と言つて、④ワラつています。

「いいなあ」

かえちゃんは、うらやましくて、しかたがありません。

「ねえ、ばあば。じいじも、いる？」

「さあて、ねえ」

ばあばは、よいしょと背のびをしました。

「さっきまでいたけれど。とのさまがえるにまたがつて、どこかへとんでいったねえ」

かえちゃんと、ちいさいばあばは、むこうのしげみを見つめました。かさり、かさかさ。かさり、かさかさ。しげみが、こまかく動いています。じいーつと、目をこらしていると……。

がさりっ。

しげみからとびだしたのは、ちいさいじいじです。とのさまがえるにまたがつて、あちこちはねたと思ったら、そのうち、かえるにほうりだされてしまいました。

「ああ。じいさん、落っこちた！」

ばあばは、おなかをかかえて大わらい。ばあばがわらうと、芍薬の花も、（ 3 ）とわらいます。かえるは（ 4 ）とした顔で、そのままだどこかへ消えました。

「あのかえるめっ」

じいじは、おこっていました。かえちゃんに気がつく、たちまち、ほにやりとやさしい顔になりました。

「おおきくなつたなあ」

「じいじは、（ 5 ）とかえちゃんを見あげました。ちいさいじいじから見たら、かえちゃんは、たしかに、とんでもなくおおきいのです。じいじは、いままで、どこにいたの」

「はて。どこにいたかなあ。稲穂にぶらさがったり、すずめにとびのったり、金魚といっしょに泳いでいたなあ」

（なんだあ。じいじも、あそんでいたのか）

かえちゃんは、すっかりあきました。あそんでいたなら、かえちゃんもさそつてくれればよかったのに。なかまはずれなんて、あんまりです。

「かえちゃんも、金魚といっしょに泳ぎたい」

かえちゃんは、しやがみこむと、頭を両手でかくして、まあるくなりました。こうすれば、ちいさくなれるはずです。

「おやあ、なにをしてるんだい」

ばあばが、ふしぎそうにたずねると、かえちゃんはBおこりながら、こう言いました。

「いま、ちいさくなつてるところ。じやましないで」

かえちゃんは、うーん、うーん、と、うなります。こんなに、いっしょうけんめいにやつたのですから、きつと、芍薬の花くらいのおおきさには、なっているはず。そつと目をあけて、自分の手を見ました。

「あれえ、おんなじ」

かえちゃんは、がっかりしました。それから、いそいで、もういちど、まあくくなりました。じいじとばあばは、かえちゃんの心の中が、すっかりわかったようです。

「いそがなくても、だいじようぶ。かえちゃんも、いつか、ちいさくなれるよ」

「ほんとう？」

「ほんとうだとも。でも、そのまえに、もつとおおきくならなくちゃ」

じいじも、いつのまにやら、ばあばのとなりで、風にゆられてわらっています。

「おおきくなってから、ちいさくなるの？」

「そうそう。だから、ゆっくりおいで」

かえちゃんは、首をかしげます。

「そうそう。ゆっくり、ゆっくり……」

(2) (うんと、うんと、ゆっくりおいで)

芍薬の花も、声をひそめて、(2)。

風にゆられて、(2)。

(大久保雨咲「五月の庭で」)

問一 □ ①④のカタカナを漢字に直し、その字を使って解答らんのだの a s d の二字熟語を完成させなさい。同じ漢字は一回ずつしか使わないこと。
問二 () 1 5 に当てはまる言葉を次のア〜クから選び、記号で答えなさい。同じ記号は一回ずつしか使わないこと。

ア ぷかり、ぷかり イ ほろん、ほろん ウ ゆんら、ゆん エ ゆらん、ゆらん オ がっかり
カ さっぱり キ びくびく ク ほればれ

問三 — 線部 A、B について、なぜ A、B のような様子になったのでしょうか。それぞれ理由を二つずつ考えて説明しなさい。

問四 — 線(1)について、「かえちゃんだって」とありますが、どういうことが言いたいのでしょうか。

問五 — 線(2)はなぜ () 付きなのでしょう。また、どのような思いが込められているのでしょうか。よく考えて説明しなさい。

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

自分が知覚しているこの現実と、本当に自分が生きている現実が同じものであるという保証はどこにもない。これは、科学的にも実証しようがないことなのだ。

解剖学者の養老孟司^{たけし}さんも話していたが、人間の脳自体が、この世界をバーチャルに理解しているので、何が現実なのかということは、人間には実証できないのだ。

確かに今、僕の目の前にコップがある。どうしても、そこにコップがあると思えない。しかし、そのことも僕の手先に伝わるコップの感触と、僕の目に映るコップの色形を感じただけのことで、その視覚と触覚自体がニセモノの情報だったとしても、知覚している僕にはそのことに気づけない。

もともと世界はこのように、バーチャルに存在しているものなのだ。

僕の目に映る若葉の緑が、あなたの見ている緑と同じものであると、どうしても思えない。しかし、そのことと人間の脳が緑をどのように知覚しているかは、話が違^{ちが}う。(中略)
「ローマ人は味と色については議論しない」と言われるが、それも () ということなのだ。

もちろん、緑という色を彩度や明度に分解することはできる。しかし、そのことと人間の脳が緑をどのように知覚しているかは、話が違^{ちが}う。(中略)
犬や虫たちは、どうも人間とは違うようにこの世界を認識している。虫たちの複眼には花の色は違って見えている。彼らは僕らが見ているように、世界を認識していないかもしれない。同じものを見ても、違うように見ているのだとしたら、緑で覆^{おお}われた美しい山並みという景色も、実は現実なのかどうか疑わしくなってくる。

①その考えをさらに押し進めれば、人間の脳にリアルなユメを見せることができたなら、もはやそれがその人間にとっての現実となってしまうのではないか、ということだ。それこそ過去の SF 作品が何度も描^{えが}いてきた世界ではないか。(中略)

本当はすべてユメを見ているだけなのかもしれない。そして仮にそうだったとしても、それを確かめることはできないのだ。ユメの中の知覚のみが僕らのすべてであるならば、ユメの外のリアルに触^ふることができないからである。(中略)

つまり、ある意味では僕らの接する情報のすべては、脳が知覚しているだけという点でいうと、初めからフェイクなのだ。
もちろん僕は今のような話をもつてして、インターネットがよくない方へ進んでいるかもしれないという業界の危機感を a チヤカス^あつもりはない。だが、「情報なんてフェイク」^{注4} くらいのニヒリズムでも持っていないければ、フェイクニュースに b をすくわれるということは、言いたい。それが今のネットの根本的な問題ではなかったか。

実は、リアルタイムで真実を追求するというインターネットの構造そのものが、フェイクニュースを生み出す仕組みになっている。今のように世界が衛星回線とインターネットでつながり、地球の裏側で起きたことを瞬時に知ることができるということは、一見、便利なことのような気もする。しかし、そこには大きな落とし穴がある。

戦争の映像をリアルタイムで見ることと、戦場^{さうば}で何が起きているかを知るということは、まるで違うことだからだ。特に映像として切り取られたものは、戦争という現実のごく一部にしかすぎない。

イラク戦争の映像は、軍が撮影を許した範囲しか映し出してはいないし、それはアルジャジーラ側の映像にしても同じことだ。彼らもまた、自分たちの基準に応じて、彼らのストーリーに合う映像を切り出している。

そのことと、イラクで何が起きているかを知るとは違^{ちが}う。だから、僕らはリアルタイムで本当は何が起きているかを知ることができない。これは映像だけの話ではない。仮に現地にいる人間がツイッターで何かを発信していたとして、それは、その人物が知れた情報でしかない。

情報発信している人間が、將軍なのか、一兵士なのか、民間人や難民なのか。それによっても情報の信頼度や中身は大きく変わってくる。あるいは、そのツイッター情報そのものが、何かの意図をもって流されたニセ情報である可能性も捨てきれない。

この章の冒頭で、脳を介在する情報がすべて改竄されているかもしれないという問題c「デイキをしたが、外界と人間の脳の間で起きえる情報の改竄と同じようなことが、ツイッターの情報を受け取る我々と戦場の間で起きている、ということだ。」

自分が目に見えている現実が、実はまったくのニセモノでただ単に脳が騙されているだけかもしれないと書いたが、多くの読者は論理的にはその記述に納得しても、実際に自分の脳が騙されているとは思わなかったはずだ。それくらい人々は自分の知覚に相当の自信を持っているはずだ。

でも、注7 荒唐無稽に思えるそんな話が、実は脳の外で起きているかもしれない。考えてみれば、これは怖いことである。

イラク戦争のとき、僕は正確無比な多国籍軍のミサイル攻撃の映像を見た。敵の軍事施設だけをピンポイントで狙い、少しも標的を外すことはないように見えた。人々が死んでいくような悲惨な映像はなかった。②まるでテレビゲームのような映像が次々とテレビの画面に映し出された。

では、イラクでは本当は何が起こっていたのか。それがおぼろげにでも見えてきたのは、戦争から5年以上経ってからのことだ。戦争のさなかには、膨大な量の情報が世界を飛び回った。当時はまだ、フェイクニュースなどという言葉が今日のように使われてはいなかったが、それでも、当事者の国や軍によって意図的に流された情報の類は相当の数に上っていた。

そして、そうしたニセ情報は年月が経つとともに少しずつ検証され、いずれは淘汰されていく。しかし、戦争のさなかでは検証もされない情報の断片をいくつなぎ合わせて、テレビのキャスターが「ワケシリ顔」のコメントをしようが、少しも真実に近づくことはできない。そこでは、淘汰されない情報に、新たな主観が加わるだけの無意味な作業がなされただけのことなのだ。

しかし、淘汰されたのちに残った情報は、ようやく信用することができるようになる。それはいつの時代でも、あてはまる真実だ。(中略)

そのほか、他国の選挙を自国の都合がよいように導くために、国家ぐるみでフェイクニュースが量産されるケースもあるという。つまり、ネットの中にはニセ情報を作るだけの十分なインセンティブが働いており、作られたニセのニュースはきわめて精巧にできていて、しかもそれは、「嘘でもいいから、自分が見たいものが見たい」という人間の根本的な心理に基づいて発信されるという、恐るべき状態になっているのである。

ネットの登場によって、すべての人類が情報を共有することができるようになり、立場を超え、国境を超え、同じ土俵で問題に向き合うことができるようになった。そういう輝かしい時代をインターネットが切り拓いた、などと考えている人間がいるとしたら、それはかなり控えめに言っても、

無自覚に「デモゴギー」をまき散らす存在であり、要するにただの馬鹿である。そんなことが本当に可能な世界が来ると考えていること自体が、③大いなるフェイクなのである。

インターネットの出現は、個人が手にできる情報の精度を、それまでよりも格段に落としてしまった。一見、便利で使い勝手がよいネットは、情報から人々を遠ざけてしまった。そのことに早く気づくべきである。

- 注 1…いかにも現実の世界であるかのような空間の中にいる様子 2…小さな目がたくさん集まって、一つの目のように見えるもの
3…にせもの 4…すでに存在している全ての決まり、立派とされているものを否定する考え 5…カタールの衛星テレビ局
6…自分に有利なように書き直すこと 7…でたらめで現実味が無いこと 8…不適当なものが取り除かれること
9…ごほうびによって物事に取り組む意欲を高める作用 10…もとな理由のないうわさ話

(押井守『ひとまず、信じない 情報氾濫時代の生き方』)

問一 aとdについて、カタカナは漢字に直し(送りがながあればふくめて書くこと)、空らんには当てはまる漢字一文字を答えなさい。

問二 (X)に入る内容を考えて書きなさい。

問三 線部①とはどのような考えか、本文中のたとえを用いて具体的に説明しなさい。

問四 線部②について、どんな映像がどのような意図で流されたのか、具体的に説明しなさい。

問五 線部③とありますが、どのようなことが「大いなるフェイク」なのでしょいか、説明しなさい。

問六 インターネットにおいて、フェイクニュースができてしまうこと、そして、広がってしまうことの理由について、本文をふまえてくわしく説明しなさい。

